

3月定例会傍聴感想文

大屋小学校の皆さん

3月9日



●議員さんは、市のことや市民のことを優先で考えていたことを改めて知ることができ、とてもうれしかったです。

●議員の方々が白河市をより良くするために案を出し市民のために議会をしていることが改めて伝わりました。

●私は市議会見学をして発言席で質問をした人に分かりやすい答えを具体的に話していたのですねと思いました。

●ぼくは、この市議会見学をして、議員の方々がぼく達の暮らしのために一生懸命話し合う姿に感動しました。

●初めて議会を傍聴して議会を行っている方々が白河市のことを考え、意見を出し合っているのですねと思いました。

●私は、議会を傍聴して市のみんなのために、真けん長い時間話し合っている姿がとてもかっこよく見えました。

●議員の人たちに出席番号があることを初めて知りました。また、ふだんは見れない所まで見れてよかったです。

●ぼくは、初めて議会を傍聴して話し合いでの相手を説得させる説明のしかたが、とても勉強になりました。

●議会を見学して、議員の皆さんが、白河市のためにどのような話し合いをしているのかを見られてよかったです。

●議会を見学して、市をよりよくしようと議員さん達が真けんんに話し合っていたのですねと強く思いました。

●ぼくは、この議会を傍聴して良かったなと思いました。市のことを考え話し合う大人になりたいと思いました。

●最初ぼくは、何を言っているのか意味が分からなかったけど、たくさん話をしていてとてもすごいと思いました。

●議会を見学して、議会でのようなことを話し合っているのかが分かりました。

関係機関へ要望書提出!

放射能対策特別委員会は2月9日、12月定例会最終日に可決した「中間貯蔵施設の早期建設及び同施設への移送体制等の整備に関する決議」を、環境省福島環境再生事務所、復興庁福島復興局、福島県庁を訪問し、要望書として提出しました。

環境省福島環境再生事務所では、松岡直之市町村除染推進室長、復興庁福島復興局では田谷聡局長に、それぞれ要望書を須藤議長から手渡ししました。提出後の関係者との懇談では須藤議長から、「除染を実施している県内の市町村においては、平成27年1月から除去土壌等の仮置場からの搬出を約束しながら、仮置場を整備し除染作業に着手したところであり、仮置場においては、環境省のガイドラインに基づき遮へい等により安全に保管しているとはいえず、

の皆さんには、多大なるご負担をお掛けすることになり、大変心苦しいが、施設の必要性について、両町民の皆さんに引き続き丁寧な説明を行い、国の方針どおり進められるようお願いいたします。」との言葉がありました。

また、県庁の中間貯蔵施設等対策室も訪問し、県の協力・支援を求めました。



環境省福島環境再生事務所での要望活動

周辺住民の皆さんの放射線に関する不安は計り知れないものがある。中間貯蔵施設の予定地である大熊町及び双葉町

(要望書は、12月定例会で決議した決議内容で提出をしました。議会日より第37号に掲載済み)